

香里ヶ丘図書館建替え基本計画（素案）説明会の記録

日時：平成 28 年 12 月 10 日（土）19 時～21 時

場所：香里ヶ丘図書館集会所 参加 36 人

この記録は、説明会で出されたご質問・ご意見並びに回答の要旨を記したものであり、テーマ毎に編集しています。

（基本計画の内容について）

Q：基本計画（素案）のコンセプト 1 にある拠点図書館とは、どういう意味か？

A：現在の香里ヶ丘図書館では来館することがなかった方に、もっと広い地域から来館し利用してもらえるよう、広い閲覧スペースを持つ魅力ある図書館にするという意味です。

（建替えについて）

意見：建替えに際しては、香里ヶ丘中央公園の土砂崩れや倒木への対策もしてほしい。図書館が地域の人の親交や交流の場になるようにしてほしい。

（新図書館の館内について）

Q：基本計画（素案）では、新香里ヶ丘図書館の開架冊数は 5 万冊である。現在の香里ヶ丘図書館は 6 万冊の開架冊数である。1 万冊少なくなるが、それで広域から利用される図書館となるのか？

A：開架スペースを、ゆったりとした空間にして滞在しやすい図書館にするということで、このような計画としていますが、開架冊数と閉架冊数の比率は改めて検討します。また、一般書、児童書、専門書などで比率は変わってくると考えております。

Q：新香里ヶ丘図書館の 2 階は集会室しかなく、図書は置かない計画である。2 階に図書を置かず、それで充実した図書館にすることができるのか？ 開架の蔵書冊数を増やすべきではないか？

A：床面積を広くすればその分の工事等にかかる事業費は増加します。また将来的な維持管理経費も考える必要があります。本市の他の施設とのバランスも考慮しなければなりません。面積について見直しは考えておりません。2 階に図書を置くと管理面や費用面で問題があり、ワンフロアで管理することが適切と考えます。その他擁壁などの条件であまり高い建物が建てられないという制約もあります。

（駐車場について）

Q：計画では障害者用やマタニティの方を対象とした駐車場を数台しか設けないとのこと。

9時台 10時台はさくら通り（図書館に面しているバス通り）への図書館利用者による駐車が多く危険を感じている。コリオに 25 台、ピーコックに 56 台の駐車場があるが、図書館利用者が駐車していることがある。本来商業施設のための駐車場であり、目的外の駐車と考えている。新しい図書館の駐車場台数について配慮してほしい。半径 1.5km の圏内の利用を考えているなら、車での来館者が増えるのではないか？

A：財政逼迫の折ですので、別の土地を取得するのではなく、現地での建替えとなります。現在と同じ敷地内に駐車場と駐輪場を確保しなければなりません。設計作業の中で検討し、できるだけ多くの駐車台数を確保したいと考えています。また、いくつかの商業施設の方とお話をさせていただく中では、別の考え方として、大きな駐車場がある図書館で市民の利用が完結するのではなく、市民が地域を回遊することで、地域が活性化するような仕掛けができないか、というご意見もあります。これからも周辺商業施設の方と引き続きお話をさせていただきたいと思います。

意見：駐車場については図書館周辺に有料駐車場があるので、それを活用すればよい。バスの本数も閑散時でも 1 時間当たり 9 本ある。全て市の負担で駐車場を設置したり、利用を無料にすることはしないのではないかと。

（スケジュールについて）

Q：基本計画（素案）14 ページ「(参考 1) 予定」について、現在の図書館の閉館から工事を開始する前の段階で説明会を開催するとのことだったが、どのくらいの時期に開催するのか？

A：設計作業を経て皆さまにお示しできるようになった段階としか現時点では言えません。平成 29 年度の中頃の時期となります。

Q：基本計画（素案）14 ページ「(参考 1) 予定」の図示では、閉館は平成 29 年度終わりになっている。設計と重複しているが、どうなるのか？

A：設計は順に解体設計、基本設計、実施設計があります。解体設計は現図書館開館中と重複し、工事としては最初に始めることとなります。解体工事を始める前には休館することとなります。

Q：できるだけ閉館期間を短くして、建替えてほしい。

A：できる限り努力します。

（意見聴取について）

Q：基本計画（素案）6 ページの登録分布図を見ると、宮ノ下町からも香里ヶ丘図書館をたくさん利用していることがわかるが、山之上校区コミュニティが説明会の対象になっ

ていない。議会でも4校区（開成、五常、香里、香陽）と言っているのはなぜか？

A：今回、開催させていただいた12月9日10日の説明会は、市内全域の方を対象とした説明会としています。平成28年5月に4校区のコミュニティから香里ヶ丘図書館建替えの要望書をいただいた経緯があり、4校区のコミュニティには別途説明をさせていただくことにしています。

Q：昨日（12月9日）の説明会の意見で、基本計画ができてから市民の意見を反映するのは難しいという意見があった。基本計画が完成する前に市民の意見を聞かないのか？

A：基本設計が確定する前で、大体の施設イメージがお示しできる頃に、意見をお聞きする機会を設けます。その後、実施設計に入っていきます。

意見：市民アンケートの受付期間（12月1日～20日）が短い。美術館建設計画の際に、香里ヶ丘図書館の建替えが明記されていたので、もっと早い時期から意見を聞いてほしかった。市民の税金を使って建替えるのだから、もっと市は説明をするべきである。

意見：このような説明会は、土日の昼間に開催してもらいたい。

（分室の見直しについて）

Q：村野、香里園、釈尊寺、茄子作、東香里の各分室について、サービスに変更はないのか？

A：分室の歴史は古く、開設した経緯も様々です。建物も全ての分室が市所有ではなく、お借りしている分室もあります。分室の見直しについては現在検討中です。基本的な考え方がまとまり次第、皆さまにお示しし、地域の住民の方へも説明をします。

意見：香里園地区の小学生は年間の読書冊数の目標があり、中学生も朝の読書で本を読まなければならないが、香里園分室は常時開室していない。小学一年生の子どもが香里ヶ丘図書館まで来館できない。高齢者もどうやって香里ヶ丘図書館まで来館するか？子育てや住みやすさに力を入れている枚方市としておかしいのではないか。

（指定管理者制度について）

Q：コンセプト5に「民間ノウハウの活用した魅力的な…」「指定管理者制度」と書いてあるが、どういうことを意味するのか？

A：指定管理者制度については、法律の改正により図書館にも導入できるようになったものです。市議会の議決等を経て、事業者の方に管理運営を任せる制度です。こうした制度を活用しながら、本市の行政改革を進めていき、市民の方へのサービスの向上と効率性を高めていくために取り組んでいます。平成28年4月から蹉跎・牧野図書館で

指定管理者による運営が始まり、そこで働いている職員は運営事業者の職員ですが、市の図書館であることは変わりません。市は運営事業者と協定を結び、市が求める事項を実行していただくとともに、運営事業者の創意工夫で図書館運営をしてもらうのが指定管理者制度です。新しい香里ヶ丘図書館も指定管理者制度導入が有効であると考えて、この素案に示しています。

Q：指定管理者制度を先行導入した蹉跎・牧野図書館の検証も出ていないのに、12月に補正予算がついているのは？

A：今回の建替えて設計事業者を選ぶ際には、単純な入札ではなく、提案能力のある設計事業者を選びたいと考えています。その手続については煩雑な作業も多く、選定をサポートしてくれる業者を決めるための予算を12月補正の予算に組みました。

Q：蹉跎・牧野図書館を運営している会社はどこか？

A：図書館部分を担当しているのは、図書館流通センター（TRC）です。

Q：新しい香里ヶ丘図書館の運営は、指定管理者制度導入が前提となっている。総務省が全国の自治体へ行ったアンケートをまとめ、8割以上の自治体が図書館に指定管理者制度はなじまないと回答し、その結果総務大臣もトップランナー方式を見送ると発表した。枚方市はなぜ指定管理者導入を進めるのか？

A：本市では、行政改革のひとつとして指定管理者制度導入を進めており、議会でも可決され、枚方市立図書館第3次グランドビジョンに基づいて実行しています。指定管理者運営館を2館から6館へ拡大することや、香里ヶ丘図書館に指定管理者制度を導入するのにも条例の改正や議会の議決、指定管理者選定の手続があります。その過程の中で説明責任を果たしていきます。

Q：平成27年度と28年度の予算を比較したら、人件費が2400万円減額しているが、管理運営費は7700万円増額になっており、5000万円増になっているのではないか？

A：平成27年度の決算額と平成28年度の予算額を比べると、図書館費が1億3770万円増加しています。空調設備の改修や小・中学校の図書室にもコンピュータオンラインシステムを導入するなど図書館オンラインシステム運営経費の増加、学校図書館を充実させる基盤を整えるための人件費の増加などにより全体が増えています。

Q：蹉跎・牧野図書館の経費は減額になったのか？

A：この2館は生涯学習市民センターと一体運営しており、全体のコスト削減額は2年間で約330万円と少額ですが、図書館部分では開館時間が1.5倍増加し、休館日を減らすなど市民サービスが向上したと考えています。

Q：指定管理者制度の導入は賛成だが、指定管理者を管理する能力を市が持たないといけない。

A：多額の費用を使って資料を購入していますが、各図書館がばらばらに購入すると無駄遣いになる可能性があるため、本市では中央図書館が分館とも話しあいながら選書を行っています。中央図書館は直営で運営し、司書も配置しています。指定管理者の意欲を引き出しながら、適切な運営を行います。

Q：平成 28 年度の 7 館の管理運営費が 5000 万円増加している。指定管理者制度を導入してもコスト削減になっていない。

A：指定管理者を選定する際、請負金額に上限額を設定しています。その上限額は直営で運営する金額にしているので、直営で運営しているときよりも金額が上昇することはありません。

Q：以前は学校訪問おはなし会を図書館で行っていたが、訪問回数も少なくなっていると聞いている。図書館の正規職員が削減されているからではないか？ 民間の金儲けに図書館が使われているのではないか。

A：現在、希望する小学校に年 1 回学校訪問おはなし会を実施しています。従前は学校によって回数の不平等がありましたが、要望のある学校すべてにサービス拡大ができました。

意見：人件費が減額したと言うが、労働条件の悪い労働者が増加している。枚方市の図書館もそれに加担するのはいかなものか。

意見：指定管理者制度を駐車場や施設管理に導入するのと、教育施設である図書館に導入するのとは意味が違う。市の職員が窓口立って利用者と会話をして、経験を積むことで図書館がよくなっていく。安定した図書館運営ができる。中央図書館から指揮・コントロールなどできない。市民の立場に立った考えた行政をしてもらいたい。

(学校図書館について)

Q：学校図書館に配置されている職員は、民間の方か？ レファレンスができる職員なのか？

A：本市の任期付職員です。各中学校区へ順次配置しています。レファレンスにも対応できる職員です。

Q：中学校 10 校に司書を配置しているとのことだが、配置していない中学校もあり不公平

ではないか？

A：一度に全ての中学校に配置できればいいのですが、できる限り職員の配置を工夫して人材を確保しながら、中学校側の受け入れ体制も含めて、配置を進めているところです。

(その他)

意見：平成 15 年に集会所を閉鎖する話が出たとき、自分たちで管理をするので閉鎖しないでほしいとお願いした経緯がある。その際に管理を引き受けたのが、開成、五常、香里、香陽の 4 校区コミュニティである。今後も配慮してもらいたい。図書館建替えの要望もしてきた。行政は市民の意見を真摯に受け止めてほしい。

意見：蔵書はできる限り、枚方市内の書店で購入してあげてほしい。